

記紀編さん 1300 年記念

平成 29 年度 宮崎神宮大祭神賑行列「神々のパレード」

参加者募集要項

本市では、日本書紀編さん 1300 年にあたる平成 32 年までの期間を「記紀編さん 1300 年記念」と位置付け、数々の神話が伝えられている強みを生かし、「日本をはじめた神々の国 みやざき」をキャッチフレーズとした様々な取組を展開しています。

そこで、毎年秋に開催されている県下最大級のイベント「宮崎神宮大祭」において、本年度は神話に登場する 16 の神々に扮して神賑行列に参加していただく方を全国から募集します。

1. 募集人数 16 人（男性 10 人、女性 6 人）

2. 募集する 16 の神々の名称（詳細は別紙「神々の紹介」参照）

【男性対象：10 の神々】

イザナキノミコト、スサノオノミコト、ニギノミコト、ホデリノミコト（海幸彦）、ホオリノミコト（山幸彦）、ウガヤフキアエズノミコト、ツクヨミノミコト、オオヤマツミノカミ、ワタツミノオオカミ、ホスセリノミコト\*

※本年度、新たに募集する神です。

【女性対象：6 の神々】

イザナミノミコト、アマテラスオオミカミ、コノハナサクヤヒメ、トヨタマヒメ、タマヨリヒメ、イワナガヒメ

3. 募集期間 平成 29 年 7 月 3 日（月）から 9 月 8 日（金）まで（当日必着）

4. 応募条件 以下の要件を全て満たす方。

(1) 平成 29 年 10 月 27 日（金）～10 月 29 日（日）開催の「神々のパレード」に係る下記イベント等に参加可能な方。

●平成 29 年 10 月 27 日（金）

14 時～21 時（予定）・・・オリエンテーションおよび任命式等への参加

●平成 29 年 10 月 28 日（土）・29 日（日）の 2 日間

28 日（土）10 時～20 時（予定）・・・神賑行列（神々のパレード）および  
神武さま広場（夜間イベント）への参加

29 日（日）10 時～17 時（予定）・・・神賑行列（神々のパレード）への参加

(2) 神賑行列が行われる 2 日間（平成 29 年 10 月 28 日（土）・29 日（日））とも、指定した神話衣装を着用のうえ、「神々のパレード」に参加いただける方。

10 月 28 日（土）は宮崎神宮から瀬頭御旅所まで（約 4km）、29 日（日）は瀬頭御旅所から宮崎神宮までを徒歩で移動することになりますので、両日とも、徒歩で移動できる体力のある方。ただし、女性対象の 6 の神々については、徒歩ではなく山車に乗車していただいて移動することになります。

(3) 平成 29 年 10 月 28 日時点で満年齢 18 歳以上の方。

5. 参加特典 宮崎の特産品・記念品などを贈呈します。

## 6. 応募方法

「Web 応募」、「Web 応募以外（郵送・持参）」のいずれかの方法で応募してください。また、応募にあたりご提出いただく顔写真・全身写真は、素顔が分かるものにしてください。

### ●Web 応募の場合

【宮崎市観光協会ホームページ「神々のパレード特設サイト」専用メールフォームからの応募】  
フォーム内の必須事項についてすべて入力し、顔写真・全身写真を添付の上、送信してください。

### 【Eメールによる応募】

特設サイトから「参加応募用紙」をダウンロードして各事項について記入し、顔写真・全身写真を添付の上、「神々のパレード」募集係宛に送信してください。

### ●Web 以外応募の場合

特設サイトから「参加応募用紙」をダウンロードして各事項について記入し、顔写真・全身写真を添付の上、(公社)宮崎市観光協会宛までお持ちいただくか、郵送で提出してください。

## 7. 選考方法等

応募資料をもとに書類選考を行います。また、選考にあたり、原則として本年度初めて「神々」に扮していただける方を優先します。選考結果は、合否にかかわらず平成29年9月末までに本人宛にメールまたは郵送で通知します。

## 8. 氏名等公表

選考の結果、「神々のパレード」に参加いただくこととなった方は、10月27日(金)に行う任命式等において、氏名やお住まいの市町村名を公表させていただきます。

## 9. その他

- (1) イベント参加にかかる宮崎市内の移動費用および神話衣装への着替え(ヘアメイクを含む。)のための更衣室等は、(公社)宮崎市観光協会が用意します。
  - (2) 宿泊費や交通費、その他の費用は、参加者の負担となります。
  - (3) パレード時において、メガネを着用している方は、できる限りコンタクトレンズの着用をお願いします。
- ※その他、ご不明な点は下記まで問い合わせてください。

### 【問い合わせ・提出先等】

〒880-0811 宮崎市錦町1番10号 宮崎グリーンズフィア壱番館3階  
公益社団法人 宮崎市観光協会 「神々のパレード」募集係  
TEL : 0985-20-8658 FAX : 0985-28-3614  
●宮崎市観光協会ホームページ「神々のパレード特設サイト」URL  
<http://www.miyazaki-city.tourism.or.jp/jingutaisai/>  
●E-mail [shinwa-miyazaki@miyazaki-city.tourism.or.jp](mailto:shinwa-miyazaki@miyazaki-city.tourism.or.jp)

記紀編さん 1300 年記念

平成 29 年度 宮崎神宮大祭神賑行列「神々のパレード」

参加応募用紙

ふりがな		生年月日	年	月	日
氏名		日	(	歳)	
現住所	〒				
出身地	●都道府県・市区町村 _____		<p style="text-align: center;">&lt;顔写真貼付欄&gt;</p> <div style="border: 1px dashed gray; width: 150px; height: 150px; margin: 0 auto;"></div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>※写真は6か月以内に撮影したものにすること。</p> <p>※素顔が分かる写真にすること（派手なメイク等の写真は不可）</p> <p>※応募用紙を郵送・持参する場合、全身写真は別途同封してください。</p> </div>		
	●国外 _____				
電話番号	-	-			
(携帯電話番号)	-	-			
勤務先 または学校名					
勤務先または学校 所在地	〒				
e-mail			@		
身長	cm	靴のサイズ	cm		
趣味・特技					
応募のきっかけ	神々のパレード特設ホームページ・ラジオ・テレビ・新聞・その他（ ）				
扮したい神様	<p>【男性】</p> <input type="checkbox"/> イザナキノミコト <input type="checkbox"/> スサノオノミコト <input type="checkbox"/> ニニギノミコト <input type="checkbox"/> ホデリノミコト <海幸彦> <input type="checkbox"/> ホオリノミコト <山幸彦> <input type="checkbox"/> ウガヤフキアエズノミコト <input type="checkbox"/> ツクヨミノミコト <input type="checkbox"/> オオヤマツミノカミ <input type="checkbox"/> ワタツミノオオカミ <input type="checkbox"/> ホスセリノミコト		<p>【女性】</p> <input type="checkbox"/> イザナミノミコト <input type="checkbox"/> アマテラスオオミカミ <input type="checkbox"/> コノハナサクヤヒメ <input type="checkbox"/> トヨタマヒメ <input type="checkbox"/> タマヨリヒメ <input type="checkbox"/> イワナガヒメ		
<p>※（ ）内には扮したい神の希望順（第3希望まで）を記入。</p>					
自己PR（必ず記入すること。最大200字）					

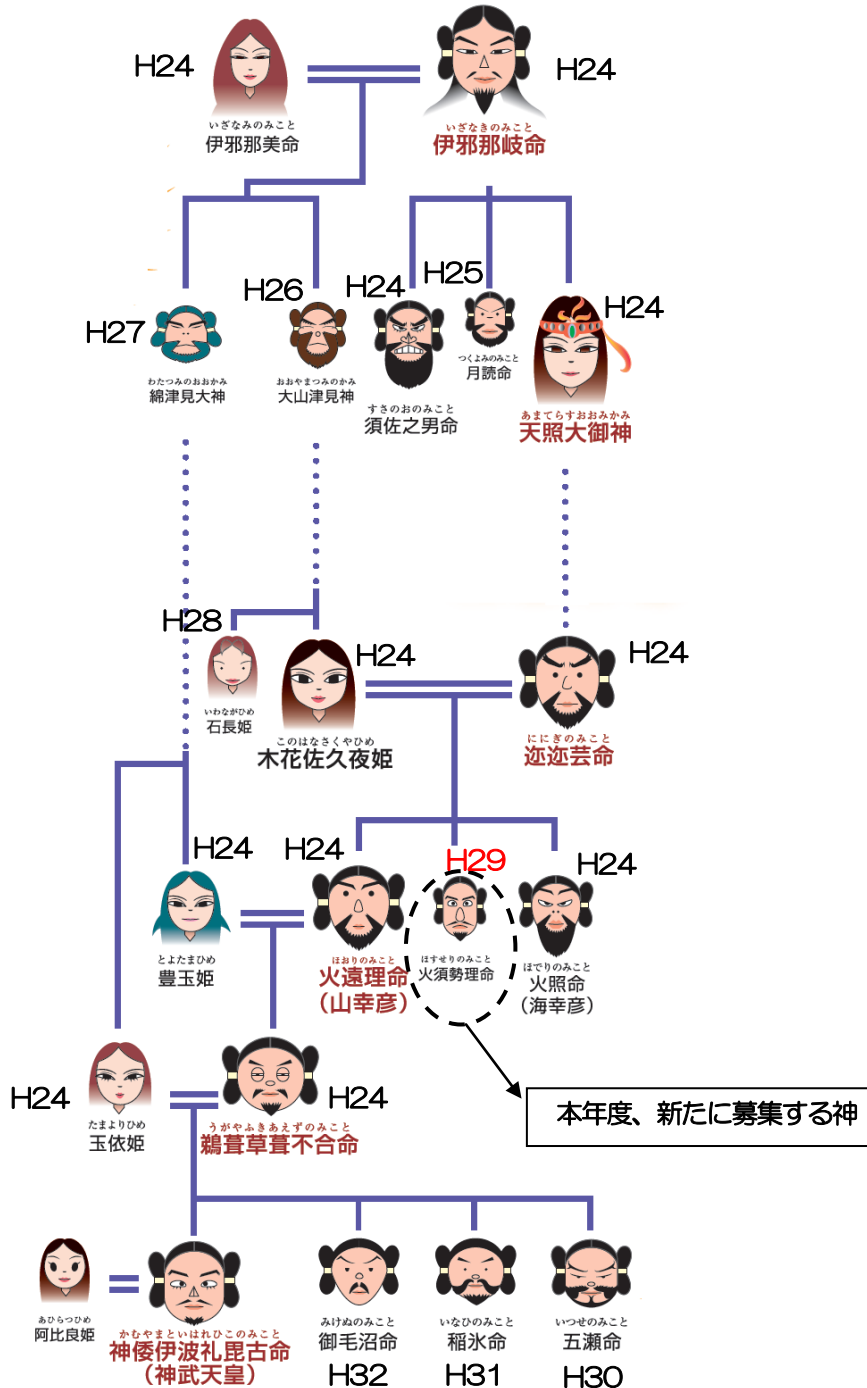
●応募された個人情報、神々のパレード参加者募集以外の目的には使用いたしません。

●応募用紙を送付していただいた時点で、使用目的に了承したこととします。

記紀編さん 1300 年記念  
平成 29 年度 宮崎神宮大祭神賑行列「神々のパレード」

# 神々の紹介

## ■神々の系図・パレード登場年度





●イザナキノミコト【H24年度】

妻・イザナミノミコトとともに、古事記に登場する神々のみならず、国土をも産んだ「はじまりの神」。阿波岐原森林公園 市民の森の中にある「みそぎ池」で初めてみそぎを行った際、アマテラスオオミカミ等の神々が産まれたとされる話は有名です。



●イザナミノミコト【H24年度】

夫・イザナキノミコトとともに、古事記に登場する神々のみならず、国土をも産んだ「はじまりの神」。火の神カグツチを産んだ際に火傷を負って亡くなり、これを嘆いたイザナキノミコトは、イザナミを追って黄泉（よみ）の国まで行き、夫に愛された神様とされています。



●アマテラスオオミカミ【H24年度】

イザナキノミコトのみそぎで最後に生まれた「3柱の貴子（みはしらのうずのみこ）」のうちの1神。太陽の神として、神様の世界・高天ヶ原（たかまがはら）を治めていましたが、弟・スサノオノミコトの暴れっぷりに怒り、天の岩戸に引きこもり、世界は闇に閉ざされました。困った神々は岩戸の前で宴会をし、賑やかな様子を不思議に思ったアマテラスがのぞき込んだ時に引き出して、この世に光が戻ったと言われています。



●スサノオノミコト【H24年度】

イザナキノミコトのみそぎで最後に生まれた「3柱の貴子（みはしらのうずのみこ）」のうちの1神。海を治める神と言われており、日向神話ではアマテラスオオミカミの「天の岩戸伝説」を作った原因とされ、暴れん坊として描かれています。一方、人々を苦しめていた「ヤマタノオロチ」を退治したとされており、出雲神話では一躍ヒーローになった神様として有名です。



●ニギノミコト【H24年度】

アマテラスオオミカミの孫にあたり、地上界を治めるように指示を受けて「高千穂のくじふる峰」に降り立たとされる神。天孫降臨の話はあまりにも有名で、地上界のマドンナであるコノハナサクヤヒメを妻にし、海幸彦・山幸彦の父となりますが、イワナガヒメを親元へ送り返したり、妻の妊娠に疑念を抱いたり、人間のような行動をした神様でもあります。



●コノハナサクヤヒメ【H24年度】

木の花、つまりサクラのように美しい女性とされている神。身ごもった際に、夫であるニギノミコトに疑念を抱かれると、身の潔白を証明するために産屋に閉じこもって火をつけ、燃え盛る炎の中で海幸彦や山幸彦などを出産したとされる大変気丈な神と言われています。



●ホデリノミコト（海幸彦）【H24年度】

青島などを舞台にした「海幸山幸」伝説のヒーローで、山幸彦の兄。海幸彦は海、山幸彦は山と、それぞれ領分を決めて暮らしていましたが、ある日、弟・山幸彦に請われて魚釣りの道具を貸したところ、大切な釣り針を無くされてしまいました。怒った海幸彦は、どんなに謝られても山幸彦を許しませんでした。最後は海の神の力を授かった山幸彦に敗れてしまうというのが、青島に伝わる海幸彦の伝説です。



●ホオリノミコト（山幸彦）【H24年度】

青島などを舞台にした「海幸山幸」伝説のヒーローで、海幸彦の弟。兄・海幸彦が大切にしていた釣り針を無くして途方に暮れていたところ、シオツチノカミから海の神様の宮への道を教えてもらい、トヨタマヒメと出会いました。その後、山幸彦が海から突然帰ってきた際に、急いで服を着る間もなく、村人が裸のまま海に飛び込んで出迎えた伝説にちなみ、毎年冬に青島で「裸まいり」が行われています。



●トヨタマヒメ【H24年度】

海の神であるワタツミノオオカミの娘で、山幸彦の妻。山幸彦が帰ってしまった後、後を追って海の中から亀に乗って鶴戸神宮へやって来ました。出産の際、中を見ないようにお願いした山幸彦に本来の姿を見られてしまい、生まれたばかりの子を残して海に帰っていきました。トヨタマヒメが乗ってきた亀は、姫が海に帰ったことを知らずに待ち続けて石になり、鶴戸神宮の運玉を投げ入れる亀石になったと言われています。



●ウガヤフキアエズノミコト【H24年度】

山幸彦とトヨタマヒメの子であり、後に神武天皇の父となります。生まれた直後に、母であるトヨタマヒメが海に帰ってしまいましたが、鵜戸神宮の洞窟の岩からしたたり落ちる水を乳がわりにして育ったとされる話は、「お乳岩の伝説」として有名です。



●タマヨリヒメ【H24年度】

トヨタマヒメの妹で、ウガヤフキアエズノミコトの妻。海に帰ってしまったトヨタマヒメの代わりにウガヤフキアエズノミコトを育てましたが、その後、妻となり、4人の子どもをもうけました。4人の子どもの末弟が、のちの神武天皇です。



●ツクヨミノミコト【H25年度】

イザナキノミコトのみそぎで最後に生まれた「3柱の貴子（みはしらのうずのみこ）」のうちの1神。夜の国を治める月の神とされています。





●オオヤマツミノカミ【H26年度】

国生みの神話で知られるイザナミノミコトとイザナキノミコトとの間に生まれた神で、コノハナサクヤヒメとイワナガヒメの父。山および海の両方を司る神であり、「酒造の神」とも言われています。



●ワタツミノオオカミ【H27年度】

国生みの神話で知られるイザナミノミコトとイザナキノミコトとの間に生まれた神で、トヨタマヒメとタマヨリヒメの父。海の神とも言われています。山幸彦が釣り針を探しにワタツミの宮にやって来た時に、すべての魚にその行方を問い、釣り針を探し出したと言われています。



●イワナガヒメ【H28年度】

妹のコノハナサクヤヒメとともに、ニギノミコトのもとに嫁いだと言われている神。しかし、ニギノミコトは、器量が悪いとイワナガヒメを親元に送り返し、以来、未永き幸せが込められたイワナガヒメを邪険にしたニギノミコトの子孫たちの寿命は、木の花のようにもろくはかないものになったと言われています。



●ホスセリノミコト【H29年度】

母・コノハクヤヒメの火中出産により生まれた神。火が盛んに燃え立つときに生まれたとされ、兄に海幸彦、弟に山幸彦を持つと言われています。



●イツセノミコト【H30年度】

神武天皇4兄弟の長男で、神武天皇に東征を相談され同行した神。東征の途中、ナガスネヒコの攻撃を受けて負傷し、紀国で息絶えます。和歌山市・竈山神社の主祭神。



●イナヒノミコト【H31年度】

神武天皇4兄弟の次男と言われる神。東征に同行するも、熊野で突然暴風に遭ったことに嘆き、剣を抜いて海に身を投じて鋤持神(さいもちのかみ) となったと言われています。



●ミケヌノミコト【H32年度】

神武天皇4兄弟の三男と言われる神。イナヒと同様に暴風遭遇に嘆き、常世郷（とこよのくに）に行ったとされています。イナヒとともに、和歌山県新宮市・王子神社の主祭神。